



ちばりは ニュース

千葉県千葉リハビリテーションセンター理念と基本方針

理念

「誰もが街で暮らすために」
Everybody will be in own town

基本方針

2026年5月発行 第64号

〒266-0005 千葉市緑区誉田町 1-45-2

TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857



ホームページ



chiba-reha.jp

X



CHIBAREHA

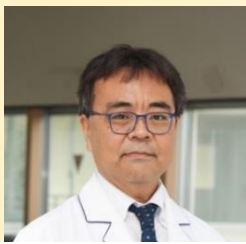
Instagram



CHIBAREHA

○利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
○日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを提供します。
○県立の総合リハビリテーションセンターとして、地域の関係機関との連携により、千葉県全体の地域リハビリテーション支援体制の充実をめざします。

新年度のご挨拶 ~センター長より~



センター長 菊地 尚久

早くも4月から1か月余りが過ぎました。当センターでは4月から多くの新人が入職し、育成教育を進めているところです。今回は新年度にあたり、私からご挨拶をさせていただきます。

昨年度は、大きな出来事の一つとして、令和7年11月に日本医療評価機構の病院機能評価受審がありました。今回は主機能リハビリテーション、副機能慢性期病院に加えて高度専門機能も受審しました。職員の努力のおかげで主機能、副機能併せて10個以上のS（最高評価）を頂き、高度専門機能も多くのI（最高評価）を頂くことができました。この結果に慢心することなく、今後より一層医療の質の向上、医療安全、感染対策に力を入れていきたいと思えます。

今年度の大きな事業としては外来診療棟のオープンがあります。職員一同、オープンに向けて着々と準備を進めており、オープン後の活動を心待ちにしております。患者様・利用者様におかれましては、次期工事で居住棟が完成するまでは、ご不便をおかけいたしますが、なるべく患者様・利用者様にご負担がかからないように職員一同、対応して参りますのでご容赦願います。



新任職員研修を実施しました



千葉リハでは37名の新しい仲間を迎え、人材育成部が中心となり、令和8年4月1日・2日の二日間、新任職員研修を実施しました。参加した職員は、医療・福祉の専門職として働くうえで必要となる基礎的な知識や心構えを学ぶとともに、同期同士の交流を深め、多職種が連携して働く職場としての理解を深めました。

研修は、センターの理念・基本方針の共有をはじめ、各部署の業務紹介、医療従事者として欠かせない個人情報取扱い、コンプライアンスの遵守や医療安全管理に関する講義を受講しました。また、車椅子操作の体験や館内オリエンテーリングなど、実践的なプログラムも取り入れ、利用者の視点に立った支援の重要性を体感する機会となりました。

参加した新任職員からは、「多職種で支え合う職場の雰囲気を実感できた」「同期とのつながりができ、安心してスタートできる」といった声が寄せられました。新任職員研修として年間を通じて複数回の集合研修を行い、今後も同期の交流、職場の理解を深めていきます。

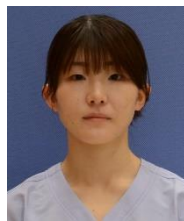


毎年恒例！新しい仲間たちを紹介します♪



①モットー ②出身地 ③趣味 を書いています！

リハビリテーション治療部 (理学療法士)



うへだ ゆり
上田 悠莉さん

- ①相手の立場を考えて行動する
- ②千葉市
- ③愛犬と過ごすこと

患者様の生活を多角的視点から支援する点に魅力を感じました。よろしくお願ひします！

リハビリテーション治療部 (理学療法士)

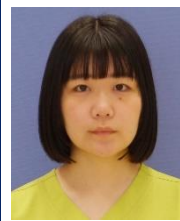


はやしだ ゆな
林田 侑奈さん

- ①人を大切に、今を大切に
- ②市原市
- ③旅行、猫と遊

患者様と真剣に向き合う先輩に憧れ志望しました。先輩方を目指して頑張ります。

リハビリテーション治療部 (作業療法士)



おおさき ゆな
大崎 友愛さん

- ①一度決めたことはやり切る！
- ②宮城県
- ③ギター

小児のリハビリに関心があり千葉リハに入職しました。患者様の役に立てるよう頑張ります！よろしくお願ひいたします。

看護部 (看護師)



くわた あおい
桑田 葵衣さん

- ①継続は力なり
- ②佐倉市
- ③推し活(旧ジャーニーズ大好きです♡)

学生時代に当センターで実習をさせていただいた際、職員の皆さまが温かく丁寧に関わってくださったことが印象に残っています。

看護部 (看護師)



ふかつ ななみ
深津 七海さん

- ①継続は力なり
- ②佐倉市
- ③料理、散歩

日々の関わりを大切に、その人らしい生活を支える看護を行っていきたくです。

看護部 (看護師)



ほんだ あすか
本田 明日香さん

- ①考えすぎず、丁寧に
- ②広島県
- ③スノボード(今シーズンは32回行きました！)

在宅へ向かう過程で、患者さんの大切にしていることに重きを置いた看護をしたいから志望しました。

看護部 医療安全管理室 (看護師)



ひうら ゆり
樋浦 裕里さん

- ①いつも明るく前向きに、みんなと共に考える
- ②市川市
- ③園芸、温泉に入る

病院機能評価のお手伝いの際に、病院の多機能さと皆さんの心のこもった対応に感激しました。「誰もが街で暮らすために」の一助となれるよう、頑張ります！

愛育園療育支援部 (保育士)

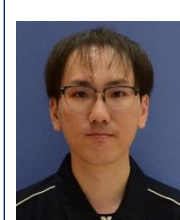


ほんどう
本堂 にじかさん

- ①明るく元気に
- ②茨城県
- ③ダーツ

経験も浅く学ぶべきことが沢山あると思いますが、ご指導いただきながら頑張ります。

愛育園療育支援部 (介護福祉士)



タイ レムスさん

- ①利用者一人ひとりに寄り添い、安心できる支援を行います
- ②シンガポール
- ③水泳、神社巡り、マンガ

障害者の方々に良いケアを学び、安全安心なケアを提供し、信頼される介護福祉士になれるよう努めたいと思います。





病院機能評価の更新認定・高度専門機能の新規認定を受けました！



当センターは、平成 22 年 1 月から（公社）日本医療機能評価機構が実施する第三者評価である病院機能評価の認定病院となっています。この認定期間の満了に伴い、当センターではプロジェクトチームを発足し準備に当たりました。また、今回は、更新のための審査と併せて、新たに、より専門的な医療機能を有している病院が認定される高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」の審査を受けるため準備を進めました。

昨年 11 月に（公社）日本医療機能評価機構のサーベイヤー（評価調査者）4 名が当センターに来訪し 3 日間に渡る審査が実施されました。その結果、今年 3 月に、4 回目の認定の更新と、高度・専門機能の新規認定を受けることができました。



病院機能評価で認定された病院のみが使用できるシンボルマークです！



こちらは高度リハ認定マークです



病院機能評価では、医療の質から病院の経営管理に至るまで 113 項目について 4 段階で評価されます。今回の審査では、12 項目について最高評価である S 評価を受けました。また、高度・専門機能においては 42 項目について 4 段階で評価され、8 項目について最高評価である I 評価を受けました。

特にリハビリテーション（理学療法、作業療法、言語聴覚療法）に関しては、全ての項目において高い専門性を評価され、S 評価、I の評価となりました。また、退院支援や地域連携、他施設を対象とした積極的な研修会の実施などが高く評価されました。

S評価を受けた12項目
・ 患者支援体制を整備し、患者との対話を促進している
・ 地域に向けて医療に関する教育・啓発活動を行っている
・ 外来診療を適切に行っている
・ 栄養管理と食事支援を適切に行っている
・ 理学療法を確実・安全に実施している
・ 作業療法を確実・安全に実施している
・ 言語聴覚療法を確実・安全に実施している
・ 身体拘束（身体抑制）の最小化を適切に行っている
・ 患者・家族への退院支援を適切に行っている
・ リハビリテーション機能を適切に発揮している
・ 外来診療を適切に行っている
・ 療養生活の活性化を図り、自立支援に向けて取り組んでいる

I 評価を受けた 8 項目
・ 急性期病院と円滑に連携している
・ 自宅復帰後のリハビリテーション・ケアの継続に向けて地域サービス提供機関等と円滑に連携している
・ 医師は質向上に向けた活動に取り組んでいる
・ 看護・介護職は質向上に向けた活動に取り組んでいる
・ 理学療法士は役割・専門性を発揮している
・ 作業療法士は役割・専門性を発揮している
・ 言語聴覚士は役割・専門性を発揮している
・ 療法士は質向上に向けた活動に取り組んでいる



研修会のお知らせ

みなさまのご参加お待ちしております

小児リハビリテーション 症例検討会

千葉リハビリテーションセンター リハビリ療法部 小児療法室 主催



日時：令和8年6月26日（金）18:30～19:30

開催方法：オンライン（OneStream）

内容：事例紹介、意見交換

参加費：無料

症例検討会にご参加の方からの「検討したい事例」を募集します。
「検討したい事例」がある方は、下記から申し込み後にご連絡差し上げられるメールにご返信ください。

参加の申し込みはこちら↓

<https://forms.gle/jR2HrYfkeTw7E1a6>



お問い合わせ：千葉県千葉リハビリテーションセンター 担当：安藤 / TEL：043-291-1831

「医療から就労につなぐ地域連携」をテーマに、最前線の実践を共有いたします。
基調講演では、脊髄損傷者支援に豊富なご経験をお持ちの北海道せき損センター 副院長 松本聡子 先生をお招きします。

←申込

QRコード



申込QR
コード
↓



第8回 せき損リハケア研修会

脊髄損傷者の 社会参加支援

—医療から就労につなぐ地域連携—

2026

6.21（日）9:30-15:00

参加費
¥2,000

脊髄損傷患者の社会参加をどのように支えるのか、本研修会では、専門員からの経験に加え、医療機関での実践・技術専門職での技能習得支援・企業の視点からの就労支援を通して、医療から社会へつなぐ連携の事例を共有します。

会場 千葉県千葉リハビリテーションセンター
2階 大ホール
定員 50名
内容 1. 基調講演
2. 取り組みの事例
3. 質疑応答

特別講師
「新しい種と心で生きる」をテーマとする
脊髄損傷者のリハビリテーション治療
—One for All, All for One—
北海道せき損センター
副院長
松本ハルモ子 先生

お問い合わせ

千葉県千葉リハビリテーションセンター・脊髄リハセンター

リハビリテーション治療部 成人療法室

担当：神保和正・遠藤友樹

TEL:043-291-1831（内線713）

お申込みはこちら

<https://forms.gle/Z8XN2458RNdmaZ5a6>

申し込み締め切り：6月15日（月）まで

センター案内図

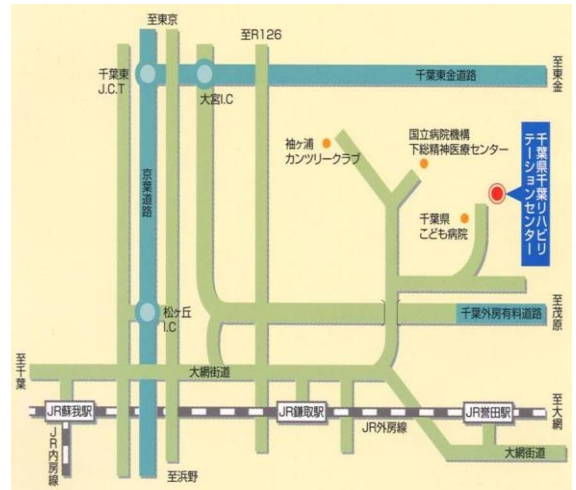
お車のご利用の場合

- 千葉東金道路 大宮インターから約10分
- 京葉道路 松ヶ丘インターから約25分

電車・路線バスのご利用の場合

- JR外房線鎌取駅北口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約9分

無料送迎バスのご案内



JR鎌取駅北口発 千葉リハビリテーションセンター行き 千葉リハビリテーションセンター発 JR鎌取駅北口行き

時	平日	土曜日
8	10 30 50	10 30 50
9	10 30 50	10 30
10	10 30 50	20 40
11	10 30 50	00 20
12	10 30 50	
13	10 30 50	
14	10 30 50	
15	10 30 50	
16	10 30 50	
17	10 40	

時	平日	土曜日
8	03 23 43	03 23 43
9	03 23 43	03 23
10	03 23 43	13 33 53
11	03 23 43	13
12	03 23 43	
13	03 23 43	
14	03 23 43	
15	03 23 43	
16	03 23 43	
17	03 33	

- センター送迎バス発着場所について
鎌取駅発・・・鎌取駅北口ロータリー付近（専用のバス停はございません）
センター発・・・センター正面玄関前
- 車椅子ご利用の乗車定員について
中型バス（白色）・・・2名
マイクロバス（水色）・・・3名
- 日曜・休日は運休となります。
- 道路混雑等により遅延する場合があります。

※土曜外来診療日の変更に伴い、センターの送迎バスの運休日が変更になります。

変更前）日曜・休日（祝日・年末年始）

変更後）**土曜（第2・4週）**・日曜・休日（祝日・年末年始）

センター送迎バス時刻表のダイヤには変更はありません。